



ランドセルは軽い方がよい

児童指導に関する校内研修の中で、A先生が次のような発言をしました。「子どもによっては、家庭やその他の場で感じた不安や不満、哀しみといったものを、ランドセルの中に詰め込んで登校して来る子もいる。教科書やノート以上に重たいかも知れないそれらを、よく探し出して指導することが大切だと思う。」

子どもの発言や行動を表面的に見るのではなく、その背景を理解することの必要性を、A先生らしい言葉で表現したものです。さすがにいいことを言うなと感心しました。


本校では登校時に、児童指導や安全指導担当などの先生が、子どもたちを校門で迎えてくれています。その中でもとくに元気なB先生に、その秘訣を尋ねると、

「私だって、疲れていたり落ち込んでいたりするときもあります。でも、子どもたちを元気にするために無理に元気を振絞っているんですよ。」と笑いながら答えてくれました。

二人の先生の言葉から、ある歌が心に浮かびました。それは、さだまさしの「道化師のソネット」です。

♪～・・・

君のその小さな手には
持ちきれない程の哀しみを
せめて笑顔が救うのなら
僕は道化師（ピエロ）になれるよ
笑ってよ 君のために 笑ってよ
僕のために きっと誰もが
同じ河のほとりを歩いている



『♪ランドセルに入りきれない程の哀しみを
せめて笑顔と元気な挨拶が救うのなら♪』

B先生も上手な道化師役を務めてくれているのです。本校の先生たちの笑顔と元気な挨拶で、少しでもランドセルが軽く思える子がいれば嬉しい限りです。

家に帰った子どもたちのランドセルの中に、ときには学校での嫌な思いや哀しみが詰め込まれていることがあるかも知れません。そんな時は、ぜひ、お父さん・お母さんの笑顔で、明日の朝までにランドセルを軽くしてあげてください。



早寝・早起き・朝ご飯 +朝トイレを

10年程前に勤務していた学校でのことです。トイレの前で、泣きそうな顔をした1年生の女の子が、「またげない。」と、私に言いました。一瞬意味が理解できず「えっ？」と聞き返してしまいましたが、すぐに分かりました。『和式トイレの便器をまたぐことができない』ということでした。和式トイレを使った経験が無かったのでしょうね。

その後、学校のトイレの洋式化が年々進み、本校でも、耐震工事に伴い、今年度教室棟のトイレは、全て洋式トイレになりました。

先日、1年生の廊下を歩いていたら、「校長先生、トイレに付き合ってくれる？」と男の子に聞かれました。またまた意味が分からずにいると、「怖いから、ドアの外で番してて、遠くに行っちゃだめだよ。」ということでした。

暇そうな人間を見分ける観察力に感心しながら、また、彼の実況中継を聞きながら、しばらくドアの外でお付き合いをすることになりました。

清潔で明るくなった学校のトイレですが、まだまだ低学年の子にとっては、入りにくく、居心地の悪い場所のようです。

『早寝、早起き、朝ご飯』、そしてトイレの時間も取れるよう、ゆとりのある朝にして欲しいと思います。

みんなで作り上げた運動会

9月29日に行われた運動会は、ひたむきで一生懸命な児童の姿が多く見られ、本校の職員にとっても大変感動的なものになりました。もちろん子どもたちの日記や作文には、達成感や満足感を綴った記述が多くありました。

☆組み体操で、練習ではできなかった技が、本番で初めてできた。

☆係の仕事もがんばれて、今までで1番いい運動会だった。紅組は負けてしまったけれど満足。

☆運べとちまる君やダンス、みんな楽しかった。

☆縁ソーランを工夫したのが楽しかった。来年は3年生に教えてあげたい。

・・・・・・・・

応援団の真剣な姿勢、活躍にも目を見張るものがありました。みんなでアイデアを出し合い、自分たちで作った応援だったので、紅白各組の児童が一つになりました。

白組の応援団長のTさんは、変声期もあり、毎日の練習で少し声がかすれてきていました。それでも、「大きな声を出す練習をしてきたので、マイクを使わずにやりたい。」と、意欲と心意気を見せてくれました。自分の意志をしっかりと主張できたのは本当に立派だと思います。(様々なことを考慮し、当日は団長から少し離れた所にマイクを置きました)

また、紅組団長のOさんは、「野球部で、いつも大きな声を出してみんなを励ましてきたので、慣れています。」と、キャプテンとして身につけたリーダーシップと元気さで、上手に紅組をまとめてくれました。



後片付けにご協力いただいた保護者の方も昨年より増えて、短時間で片付けが終わりました。

また、イオンへの駐車、路上駐車は、かなり少なくなりましたし、臨時駐車場にゴミもありませんでした。

児童・職員・PTA、みんなで作り上げた運動会、大変お世話になりました。

1年生も落ち葉掃き

6年生が中心となって朝の落ち葉掃きをしてくれています。そこに、少し前から1年生の姿も見られるようになりました。

理由を聞くと、『生きもの係』さんが、秋になって朝の水やりの仕事が無くなったので、こちらに参加してくれているとのこと。

「そう、いきものがかりなんだ。それじゃ、歌も歌わないとね。」と言うと、「歌うのは歌係です。」ときっぱり。このあたりがやはり1年生らしいところです。

代わりに、側で聞いていた6年生が、「通じなくて残念でしたね～」といった感じで、わずかに笑みを見せてくれましたが・・。

荒川久雄 前教頭先生 メモリアル花壇

体育館前の花壇は、環境ボランティアの葛原さんが中心になってお世話をしてくださっています。夏休み中も、夕方になるとほとんど毎日、葛原さんの姿がありました。

運動会が近づいたある日、葛原さんが、「この花壇を、荒川久雄前教頭先生(昨年現職で亡くなられました)のメモリアル花壇にしようと思い、手入れしてきました。」と、ポツリとおっしゃいました。

ちょうど、奥様とお嬢様が運動会のお祝いに来てくださることになっていたもので、そのことをすぐにお伝えしました。

来校されたお二人は、葛原さんの心のこもった花壇をご覧になり、大変感激されたご様子で、何枚も記念写真を撮られていました。

早いもので、もうすぐ荒川先生の一周年忌になります。あの端整で優しい笑顔が思い出されます。



